

令和 7 年度（2025 年度） 第 9 回小原地域会議 会議録

開催日時	令和 8 年 1 月 6 日（火）	開会	閉会
		午後 6 時 30 分	午後 8 時 30 分
会 場	小原支所 第 1 会議室		
出席者	委 員	竹内正美（会長）、白川悠理（副会長）、成瀬友昭、景山卓己、大林鐘次、板倉正典、増岡正博、加藤元紀、山内明、成瀬啓一、田澤由佳、鈴木孝典、濱辺誠一、無州麻美	
欠席者	安藤茂則、岡田口治、小出透、伊藤大悟		
次 第	開 会 1 協議事項 ・ 里の駅構想整備イメージ（案）について 2 その他（連絡事項・配布物等） ・ 構想実現に向けた進め方について 閉 会		

■ 議事要旨

1 協議事項

(1) 計画の全体像、整備計画に関するご意見（主な課題）

- ・ バラバラだった意見がイメージされて第一歩となった。これからこれの良し悪しを議論することだと思う。→今回の整備イメージ案は最終形ではなく、2 年間の議論をまとめたスタートラインとする。
- ・ 意見を全部入れたため何で勝負してるのかよくわからない場所になってしまった。
- ・ みんながやりたいことを全て入れたため、人が来るとか、お金が回るイメージが湧かない。自分たちで更に考えなくてはいけないと思う。
- ・ 施設の中身を一緒に考えないと箱ものだけになってしまう。住んでいる人たちのことも考えていかないといけない。
- ・ 規模が大きく、自分の中でイメージが見えてこないなので、意見を出すことが難しい。
- ・ 敷地は広げられるのか。→県の土地で市が無償貸与を受けている。具体的な整備計画が決まってから検討していくことになる。

(2) 具体的な施設や内容についてのご意見

【体験・子どもの居場所】

- ・ 重要視すべきは「体験」。カブトムシ捕りや水生昆虫と触れ合えるなどの自然体験や、高齢者と子どもが室内でものづくり体験する場もほしい。
- ・ 小原の子どもも火起こしや木登りなどは体験できていないので、プレーパークのような場所を充実させてほしい。
- ・ 和紙とうるし工房に子どもの居場所を無理に詰め込まず、プレーパークや散策など屋外体験に特化させるなど尖らせていった方が良い。
- ・ 子どもが対戦ゲームを楽しめる大きなモニターがあったら面白い。
- ・ 子どもの居場所だけでなく、高齢者の集まる場所が網羅されていない。
- ・ 子どもの居場所にするためには、子ども用トイレの整備も必要になる。

【ドッグラン】

- ・ 今はペットブームで犬を家族と思っている人も多いので、ドッグランはあったら来たいという人は多いと思う。

【山や植栽】

- ・ この場所は昔から日陰で暗いイメージ。木を切って違う木を植えないと明るくならない。子どもがカブトムシ捕りをするなら、寄ってくる木がないと虫が来ない可能性がある。
- ・ 虫取り体験などを行う山の整備状況が分からないが、四季桜やモミジを植えて計画すれば、良い場所になると思う。
- ・ 四季桜の苗を里親制度にして山を作っていくとか、小原で過ごす時間を増やしてもらうための場所としたい。
- ・ 美術館裏の山を切り開くのかどうかなど、山の上の活用も含めて今後検討したい。
- ・ 山に入った子どもがルートから出る可能性もあるので野生動物（イノシシ等）から子どもを守ることも考えてほしい。

【その他施設、設備】

- ・ キッチンでお菓子などを作って売る、起業できるといった案が抜けているので入れてほしい。
- ・ スケートボードの優先順位を上げて進めてほしい。
- ・ 国道は車が60km/hで走っていくので看板設置のみで左折して入ってくれるだろうか。道路の拡張をしてもらうのが良い。

【食】

- ・ 食事は近隣の「紙の花」などの施設を利用してもらうことで地域活性につなげ、ここでは軽食・ドリンク程度としたい（キッチンカーやコンテナハウスなど）。
- ・ 小原オリジン（小原庵の餡、アイス、小原米など）を追求していったら良いと思う。

【交流館との連携】

- ・ 交流館は図書室や小さい子が行ける場所があり、活用してうまく絡ませたほうが良い。
- ・ 交流館や福祉の里も活用した方が良い。わくわく事業の団体との連携も良い。

(3) 実現性・コスト・運営のご意見

- ・ 計画をすべて実施した場合の事業費の総額がどの程度になるか知りたい。
- ・ お金をかけないことを考えるのが大事で、里山の良さを活かしたら良いと思う。
- ・ 最初に何をやったら良いのか優先順位を付けながら、今の小原地区に必要なものを考えなくてはいけない。
- ・ 色々な施設があると働く人もたくさん必要になる。一気に整備はできないので絞っていく必要がある。
- ・ プレーパークとドッグランは、わくわく事業の「ワンチャレ」さんに、外から来た子と小原の子ども達が関われる何かを一緒にやりませんかと相談したら、新しいものが生まれるのではないかな。

2 その他（構想実現に向けた進め方）

第9回（今回）：整備イメージ（案）について

第10回（2月3日）：実現に向けた進め方について

第11回（3月3日）：第2期おぼらみらいプランの実現に向けて